

クスノキ通信

外国人労働者もアンケートに回答

23回目のハローワーク前アンケート

働かなければ生活できない高齢者が多いです

建交労広島県本部は、広島県労連と各地域労連加盟の労働組合とともに「二〇二六年ハローワーク前求職者・離職者」アンケートに取り組みました。今年で二三回目、県内六か所のハローワーク前で三月一七日(火)から三月二六日(木)にかけて実施、各職安所長に事前に申し入れを行い実施しました。

三月一七日は三原と呉と福山で、一九日は尾道のハローワーク

前で取り組み、合計二九筆のアンケートを集約しました。

五五歳以上求人がすぐ決まる

広島東職安の所長は「五五歳以上の求人が一五〇人あったときすぐに決まりました。仕事を求めているシニアの求職者は多いですね」と話していました。三原のハローワーク前アンケートでは、外国人労働者が、スマホの翻訳機を操作して三〇分くらいかけてアンケートに答えてくれました。



三原のハローワーク前アンケートに参加の皆さん(3月17日)

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒七三〇〇八五三
広島市中区堺町一丁目一九三〇三
TEL(〇八二)二三五三三〇〇
FAX(〇八二)二三五一三〇五二
e-mail
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

賃金引き上げの実現を 山陽リクシル分会が第4回大会

建交労広島県本部山陽リクシル分会は、3月15日(日)広島市内で第4回定期大会を開催しました。岡山、山口の組合員4名と建交労愛知県本部書記長の谷藤賢治書記長と広島県本部の山田昭夫委員長と小林豊教前委員長、大平文俊書記長代行、武田喜成書記次長(中執)の9人が参加しました。(写真上)

松本昌也分会長の挨拶の後、谷藤書記長より、解雇問題をきっかけに全国でリクシルで働く仲間が組合に結集してきたこと、労働者性をめぐり中央労働委員会、最高裁まで闘い「労働組合法で保護されるべき労働者」の権利を獲得したことの経緯や、今年2月のリクシル本社との交渉の内容についても報告がありました。

山田委員長が前回大会以降の経過報告と2年分の会計について報告。今後については全国協議会の会議に参加することや会社との賃金引き上げなど団体交渉には分会からも積極的に参加することを強調しました。

来年の大会開催も確認

午後の懇親会では、「MEの仕事が減ってきている」「タブレットでの業務も多く、調子が悪い時もあり大変」など仕事での不満や不安が語られました。『今後の団体交渉に参加する』など活発な議論となり、来年の分会大会も必ず開催することを確認しました。役員改選については、引き続き松本昌也分会長、杉原彰会計監査を再任しました。



来年の大会開催や今後の活動について意思統一した山陽リクシル分会の皆さんたち(三月一五日)

徒然草

日に日に世界が悪くなる。毎朝TVをつければ、爆撃を受けた瓦礫の街が映し出される。そんな日が続いて憂鬱になる◆アメリカとイスラエルによるイラン攻撃が、交渉中にもかかわらず突然始まった。国連憲章も国際法も無視するトランプ大統領。ロシアのウクライナ侵略戦争も4年を経過し、まだ続いている。ガザの人たちは、どうしているだろう、など不安が心を覆う◆しかし、ちよつと立ち止まって考えてみる。今、日本国憲法の出番じゃないか。憲法前文は、日本国民が正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、戦争の惨禍が再び起こらない事を決意し、主権が国民に存することを宣言し、憲法を確定するとの旨を述べている◆国政は、国民の厳粛な信託によるものであり、その権威は、国民に由来し、国民の代表者が権力を行使し、国民が福利を享受するという「人類普遍の原理」に基づいている◆日本人は政治や社会問題について、家庭や職場で日常的に語らない希少な国民と言われているらしい。体裁を気にする風土かもしれない◆各々が家庭や職場で、自分の頭で考え自分のできる範囲で一人でも多く人々がこの理不尽な戦争を止めるためにできる事をやっつけていきたい。未来を生きる人たちのために、八〇年戦争をしてこなかった、平和を続ける事に努力してきた者としての責任でもある。(SF)

アメリカとイスラエルは違法な戦争を直ちにやめよ!

日米首脳会談でもトランプ大統領を持ち上げるだけで「戦争中止」を一言も言えない高市首相



二月二八日にアメリカのトランプ政権とイスラエルによるイランへの先制攻撃が行われたことにたいして、広島県被団協(佐久間邦彦理事長)と広島県原水協の呼びかけで、三月二日の夕方、中区の原爆ドーム北側の広場で、雨にもかかわらず緊急の抗議行動が開かれました。(写真上)

息子はホルムズ海峡航行できず、近くで停泊中との連絡、戦争が身近に

先日組合事務所に来られた立花さん(仮名)、息子さんは商船学校を卒業して、今年コンテナ船の船長になったばかりで、ホルムズ海峡を航行しようとしたが、イスラエル・アメリカとイランの戦争のあおりを受けて、ホルムズ海峡が航行できなくなり近くで停泊中との電話が家族にかかってきたとのこと。親御さんは「危ないから早く帰ってこい」と言いました」と心配そうに話していました。

参加(主催者発表)。アメリカとイランは、オマーンを仲介国としてイランの核開発についての協議の最中でしたが、トランプ政権はそれにもかかわらずイランにたいし先制攻撃をおこない、小学校を狙い一六〇人以上の子どもが犠牲になっていきます。(アメリカは当初否定していましたが、後日誤爆したと認めました)広島県被団協の佐久間邦彦理事長は、「国連憲章にも国際法にも違反する暴挙に怒りでいっぱいだ」と激しく憤りの声を上げました。集会では、「イスラエルとトランプ米政権によるイラン攻撃に抗議する」とのアピール文を読み上げました。広島でも全国でも連日抗議行動が続いています。

高市首相は「平和と福祉を実現するのはドナルドだけ」とトランプを天まで持ち上げ

高市首相は、三月二〇日の未明に、ホワイトハウスでトランプ大統領と首脳会談を行い、イランに対する戦争を直ちにやめることを要請するのではなく、「世界の平和と福祉を実現するのはドナルドあなただけです、それを言いに来ました」と、侵略者であり、世界で孤立しつつあるトランプ大統領を天まで持ち上げる恥ずべき態度に終始しました。

代表派遣カンパ八万円を突破しました

「協力ありがとうございます」。

NPT(核拡散防止条約)再検討会議が、今年の四月末から五月初めにかけてアメリカのニューヨークで開催されます。建交労青年部から二名が代表派遣されます。内一名は建交労青年部長で広島県本部の武田喜成(よしなり)書記次長が長崎県本部の内田知也氏とともに参加します。二月七日の広島県本部執行委員会で派遣カンパを呼びかけましたが、三月二五日現在で八万円を突破しました。10万円を目標に呼びかけていますので、引き続き、組合員の皆さんの協力をよろしくお願いいたします。

今後の組合行動日程など

- 三・二六 建交労中央執行委員会 (東京(二七日))
- 三・二八 県労連・ヒロシマ革新懇・労学協「春の学習会」 (一三時三〇分グリーンアリーナ)
- 講師 関野秀明(下関市立大学教授)
- 「資本による労働の包摂と解放」
- 四・四 革新懇中国・四国交流会 (〇五日・岡山市)
- 四・九 NPT行動代表団結団式 (午後6時・ロードビル)
- 四・一一 建交労広島県本部執行委員会
- 四・二五 NPT再検討会議インニューヨーク(〇5/3)
- 五・一 第九七回メーデー集会 (10時・中区国泰寺公園)
- 五・三 憲法集会
- 五・二三 全労連中国ブロック総会 (尾道ふれあいの里)
- 六・一九 広島ビックアキシオンデー (最賃宣伝・座り込み)

お知らせ

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、「メール」やファクスでお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。お待ちしております。

ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp
Fax 〇八二一一三三五一三〇五二